

教育目標 「 知性豊かに 心さわやか たくましく生きる 」



志

学校だより

R5 .3 .8

四日市市立内部中学校 第 44 号

卒業式を終えて

3月7日(火)に、第38回卒業式を挙行了いたしました。とても良い式となりました。

本来であれば、地域の皆様方をはじめとする、本校の教育活動にご協力いただいた多くの方々をお招きして、卒業生の中学生として最後の姿を見ていただくところですが、感染症対策のため、代表としてコミュニティースクール運営協議会の委員のみなさんに臨席していただきました。本校の生徒たちを温かく見守り、様々な場面で支えていただいた皆様に、心より感謝しております。



卒業証書授与が整然と行われた後、校長からの式辞や、市長・教育委員会からの告示、PTA会長からの記念品贈呈があり、その後、在校生代表の片岡夏凜さんが送辞の中で、卒業生への憧れや感謝の気持ちを述べました。通常であれば2年生の生徒全員が参列しますが、密を避けるために、生徒会執行部の7名と2年生学級委員だけに参列してもらいました。卒業生の立派な姿を、すべての在校生に見せてあげたかったです。素晴らしい合唱を聴かせてあげたかったです。

式辞の中では、卒業生の良さである「気持ちのこもったあいさつ」を大切にしたいと述べるとともに、「まごころ」を大切にしながら、これからの人生を歩んで欲しいと激励しました。

答辞は、卒業生を代表して角谷さくらさんが述べてくれました。これまでお世話になった様々な方々への感謝の気持ち、仲間との思い出や大切さ、様々な行事を経て成長したこと、先生方へのお礼、保護者へのお礼、未来への希望、今後の決意等を、心を込めて伝えてくれました。



式の終わりに卒業生が、式歌である『春風の中で』を合唱しました。その歌声の素晴らしさはもちろんのことですが、保護者のみなさんや教員等への感謝の気持ちを届けようと、心を込めて歌っている様子に、とても感動しました。式が終了した後は、吹奏楽部の生徒たちが「まごころ」を込めて事前に録音した音楽と、大きな拍手に送られて、晴れ晴れしく退場していきました。

卒業生がこれからの人生を、「しあわせに、そして確かに生きていける」と確信することのできる、良い卒業式となりました。ご卒業、誠におめでとうございます。

高校体験講座

3月3日(木)の5・6限目に、7つの高校の先生方を講師としてお招きし、2年生を対象に『高校体験授業』を行いました。

様々な企業の創業はいつ頃かを予想してみたり、教室内で観葉植物や大きな岩をレイアウトして庭を造ったり、泣き止まない赤ちゃんを抱いたりミルクを与えたりしてあやしたり、木片と糸を使って建築にチャレンジしてみたり、身体の状態について理



解を深めたり、論理的な文章の作り方について学んだり、各学校の特色について詳しく教えていただいたりと、盛りだくさんの内容でした。生徒たちはその中から2講座を選択し、熱心にお話を聞き、生き生きと体験していました。授業を受けたことで各校の様子がわかり、進学先を考える際の参考になったことと思います。参加していただいた高校と講座内容は以下の通りです。

- ・ 四日市工業 「糸で建つ建築～極限のバランスに挑戦～」
- ・ 四日市商業 「わくわくが止まらない 四日市商業の魅力」
- ・ 四日市農芸 「教室に庭をつくってみよう（農業）」「工作をしてみよう（家庭）」※2講座
- ・ 四日市四郷 「メンタルトレーニング スポーツ用語」
- ・ 鈴鹿 「論理コミュニケーション」
- ・ 大橋学園 「保育について学ぼう」
- ・ 海星 「キャリア教育のためのクエストエデュケーション体験」

